





西
夏
圖

種
房
作

三編上

あ
ら
わ
た
り
の
し
ら
べ



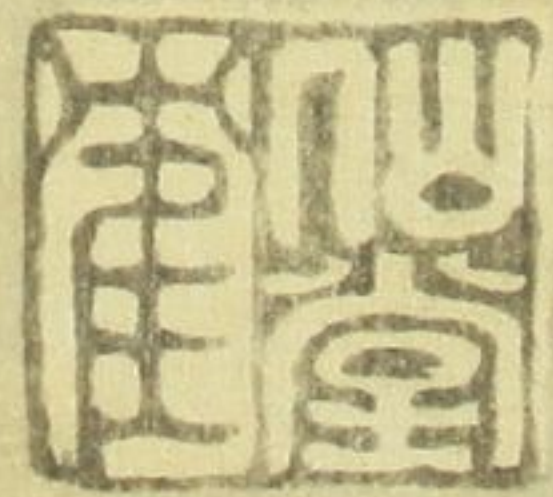
品定の詞荒海のいぬの尻 東都通油町
 かう國乃そまげ せけの物 繪草紙問丸
 目み見えぬ鬼物か不云 鶴屋喜右衛門

修紫田舎源氏 三編 上冊

柳亭種彦作
 歌川國貞画



庚孟春



仙鶴堂

修紫田舎源氏第三編

全部引書目録

源氏提要

源氏小鏡

十帖源氏

とさか源氏

源氏鬢鏡

紅白源氏

雛鶴源氏

若草原氏

源氏若竹

風流源氏物語

新橋姫物語

一名都の辰巳

以下海榴瑠
 源氏六條通

弘徽殿うそまの討

葵の上

弘徽殿鶉羽産家

謡曲數種

俳諧源氏

予若年の頃何意なく讀みたるが
 今わくしむるも未得

文政

庚寅春發行
 辛卯春再彫

柳亭種彦記

虚蟬の身と如て
がほあのもよふ衣
人ぐらむれあけりこさか

足利次郎

光氏

十七歳の

姿



うのせみの羽よち

あつきのまはけ

忍ひあのみぐしぬあ

袖うさ



仁木喜代之女の妻

空衣

うの蟬小

比



源氏物語の一場を写したものである。人物の服装や背景の装飾は、平安朝の宮廷文化を反映している。この巻には、源氏物語の主要な登場人物が活躍する場面が描かれている。



源氏物語の一場を写したものである。人物の服装や背景の装飾は、平安朝の宮廷文化を反映している。

源氏物語の一場を写したものである。人物の服装や背景の装飾は、平安朝の宮廷文化を反映している。



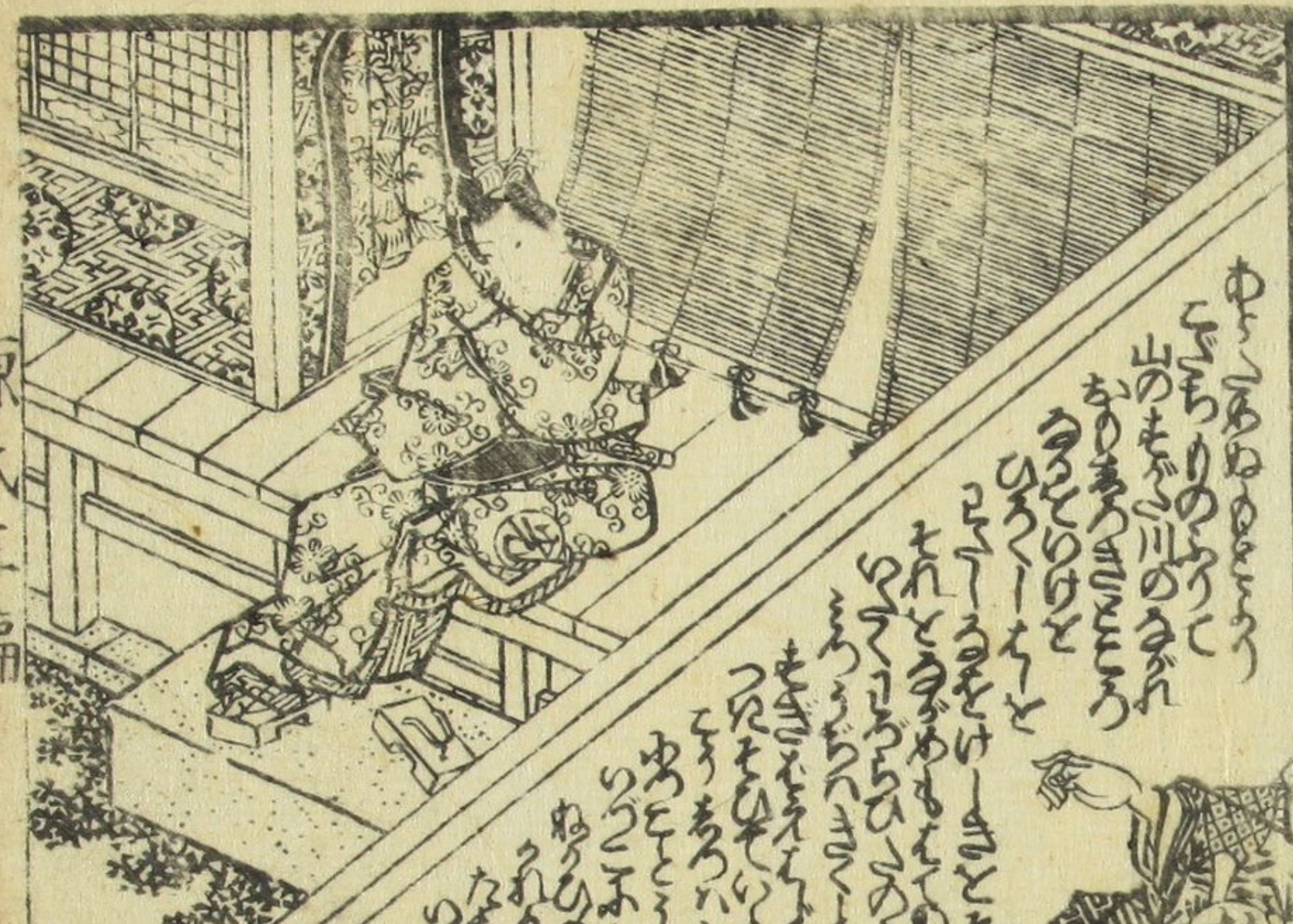
源氏物語の一場を写したものである。人物の服装や背景の装飾は、平安朝の宮廷文化を反映している。

源氏物語の一場を写したものである。人物の服装や背景の装飾は、平安朝の宮廷文化を反映している。

あつたはりのついでに...
ひらひらと...
さうして...
あつたはりのついでに...
ひらひらと...
さうして...



白髪...
仙...
...
...



あつたはりのついでに...
ひらひらと...
さうして...
あつたはりのついでに...
ひらひらと...
さうして...

江戸大通
京橋
南...
...
...

國貞画種彦作



Handwritten text in cursive (sōsho) surrounding the illustration, likely providing commentary or a transcription of the scene. The text is dense and covers the right side of the page.

修紫田舎源氏

多奉十八編より廿二編まで開板おかしき事多し

柳亭種彦作

歌川國貞画

一筋道雪眺望 全四冊

笠亭仙果作

鏡久の十徳 後甲の紙子世話家求 全四冊

笠亭仙果作

歌川國芳画

歌川貞秀画

種彦校合 井筒屋の箱 八百屋乃娘 紫房紋笈箱

仙客亭柏琳作

糸柳花縁結

笠亭仙果作

歌川貞秀画

歌川貞秀画

天保七年丙申新春新彫

書物地本錦繪問丸通油町仙鶴堂鶴屋喜右衛門

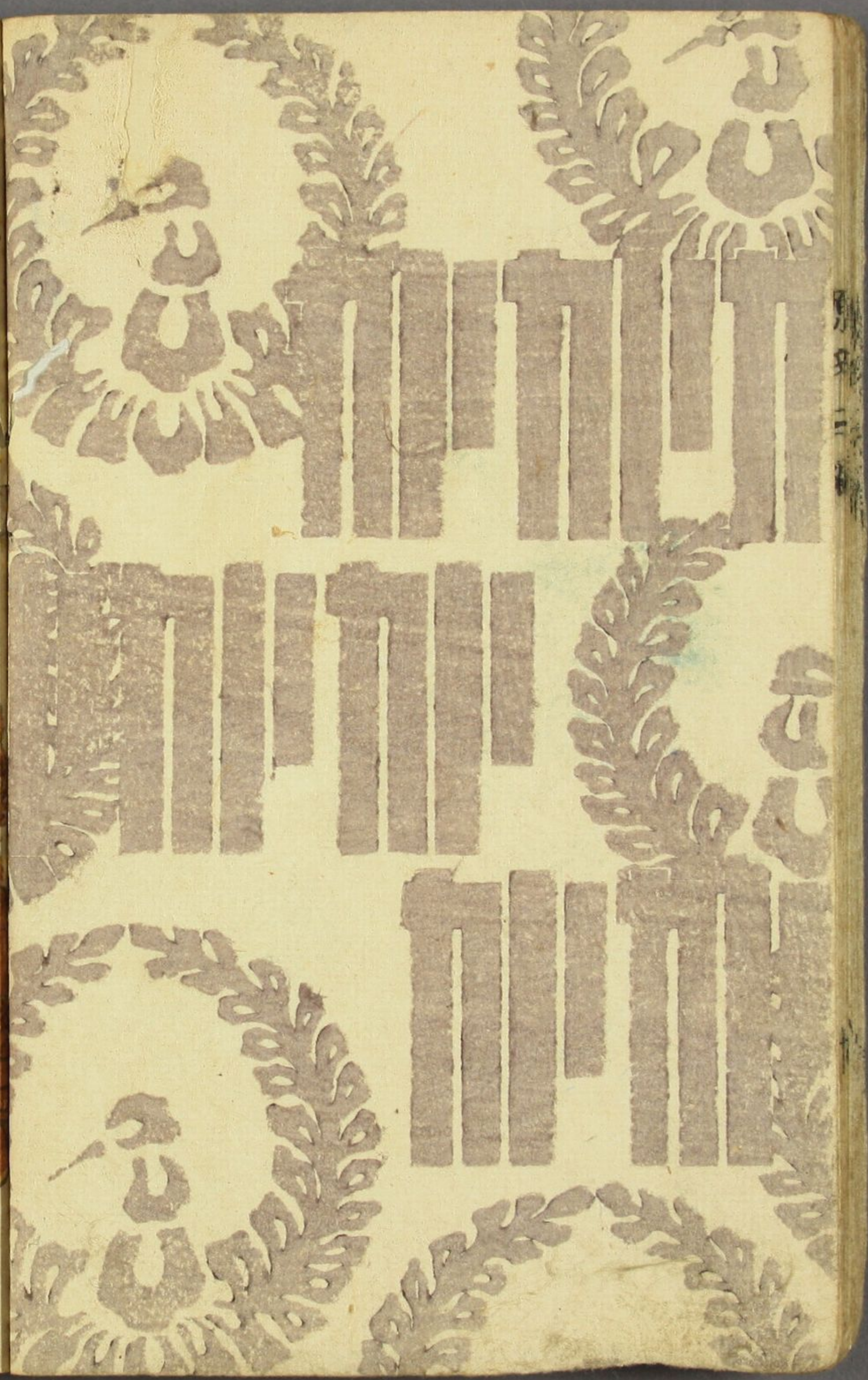


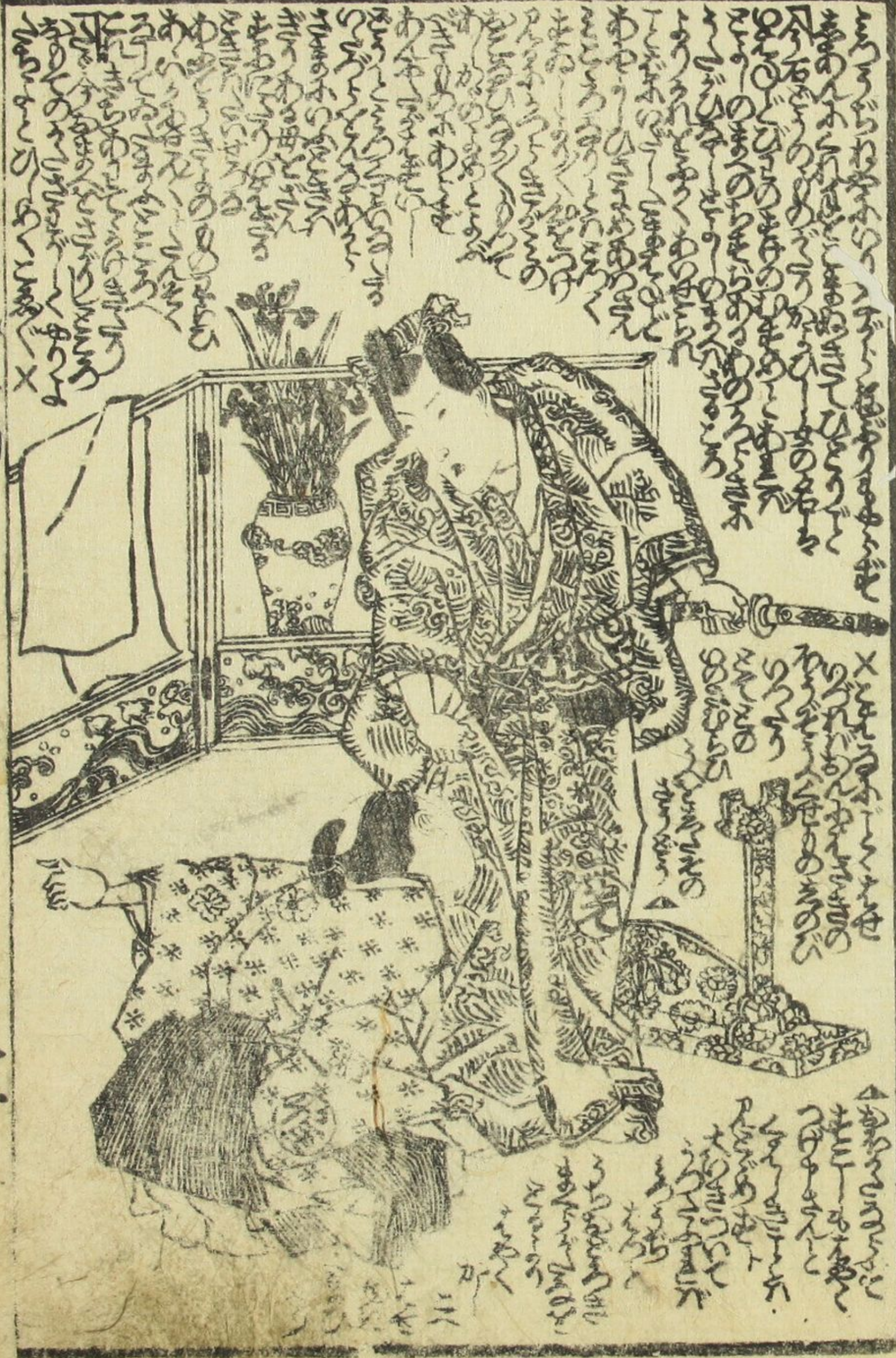
源氏

高繁
田舎

三編下

仙鶴堂
梓行





源氏物語

庚寅
新彫



空蟬

津波屋板

種彦作
國貞画

三編
下冊

源氏

田舎

田舎文庫



Vertical text on the left margin of the first page.

Vertical text on the left margin of the first page.



Vertical text on the right margin of the second page.

Vertical text on the right margin of the second page.

柳亭所好

新形

舟烟管

ぶくろ形

例年の通り

浅草

市の日

黒船

町

村田

小舟

店



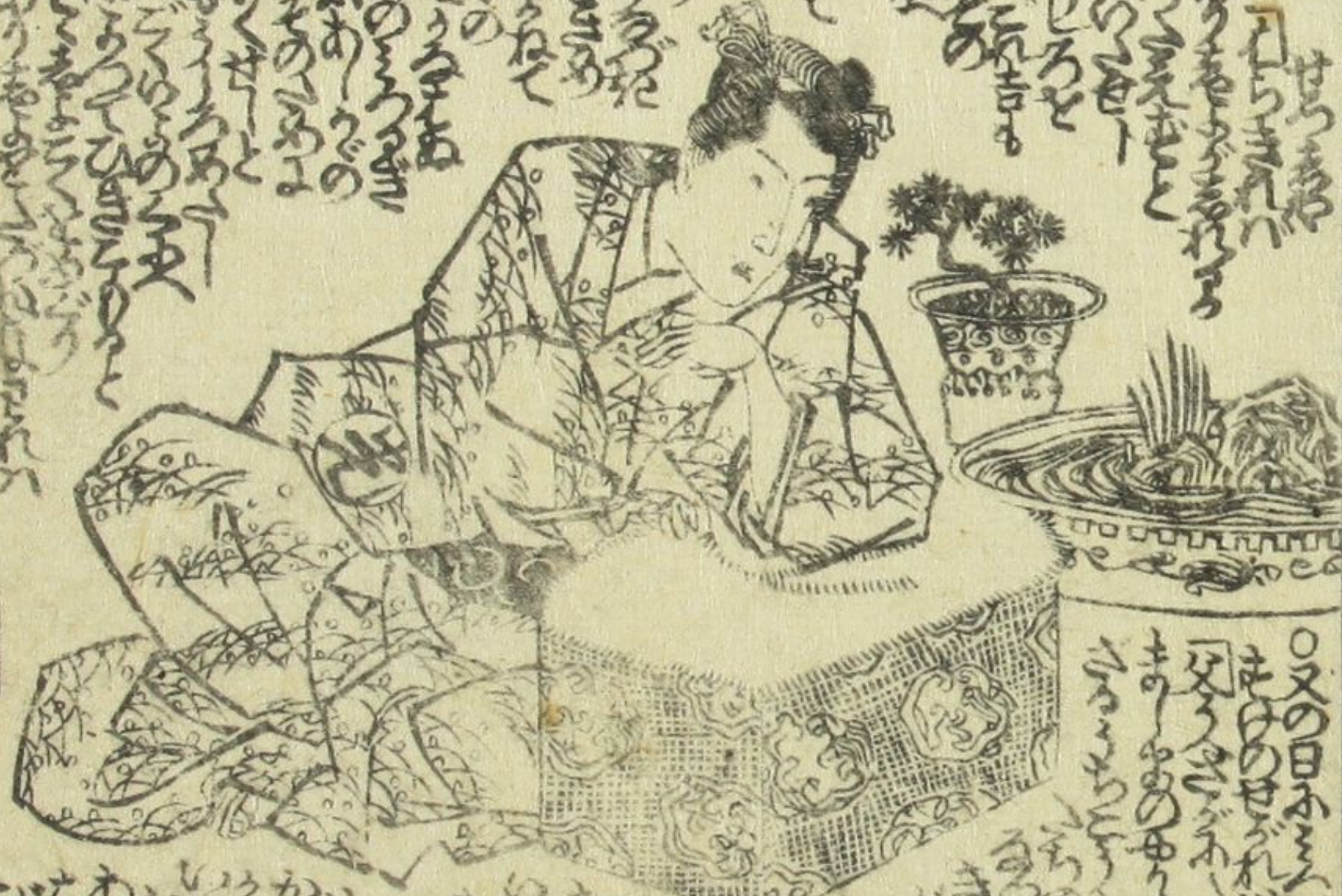
Handwritten text in vertical columns, likely describing the scene or providing commentary. Includes characters like '舟', '船', '舟煙管', 'ぶくろ形', '例年の通り', '浅草', '市の日', '黒船', '町', '村田', '小舟', '店'.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary. Includes characters like '舟', '船', '舟煙管', 'ぶくろ形', '例年の通り', '浅草', '市の日', '黒船', '町', '村田', '小舟', '店'.

Handwritten text in vertical columns at the top of the page, likely a preface or introductory text.

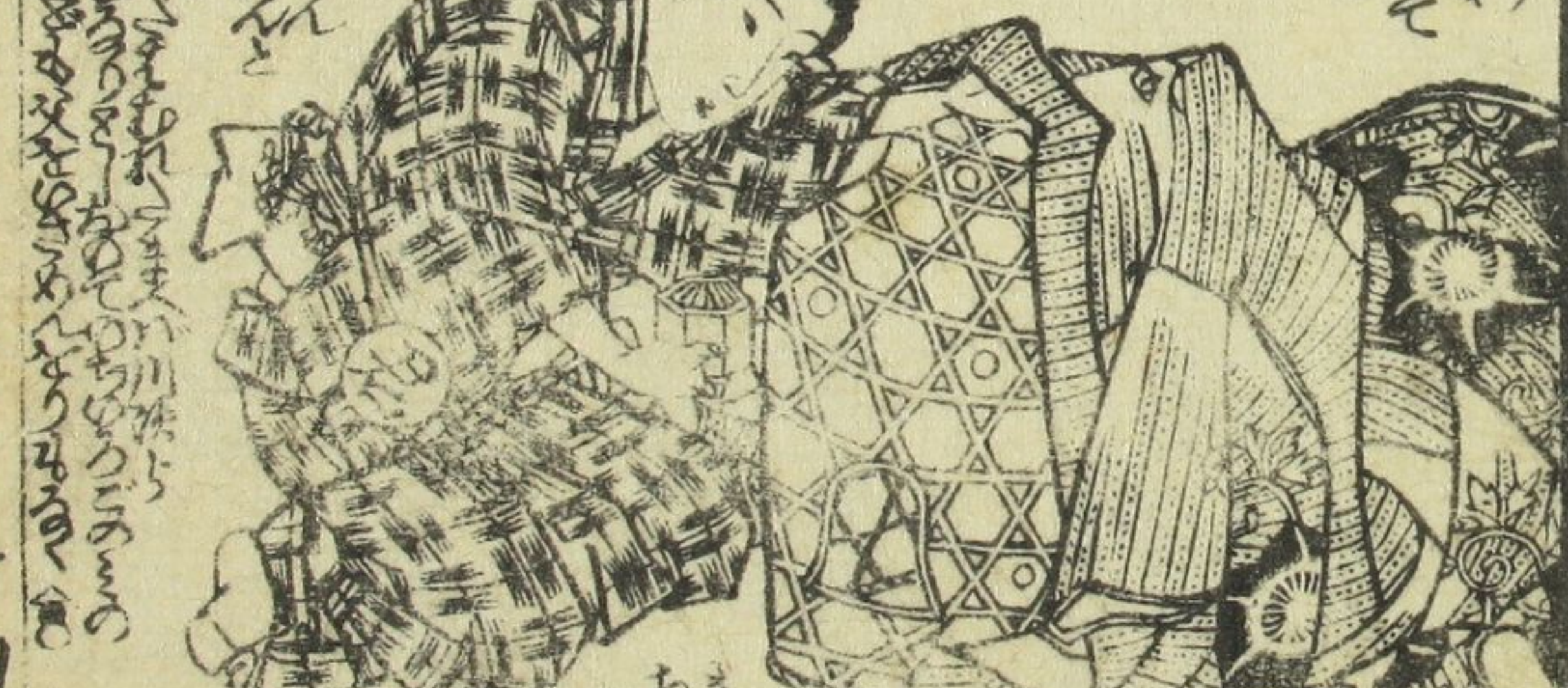
Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the page, likely a conclusion or final commentary.

川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は

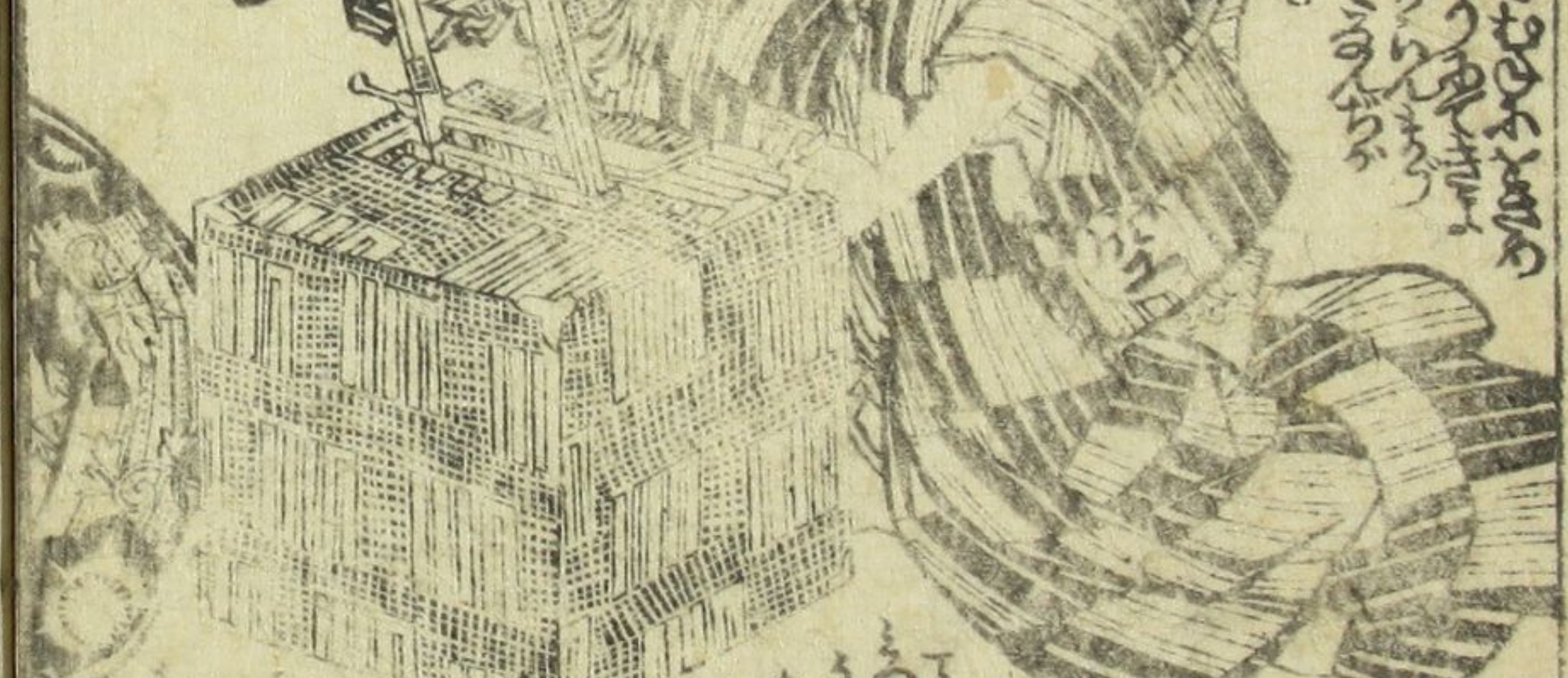
川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は



川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は

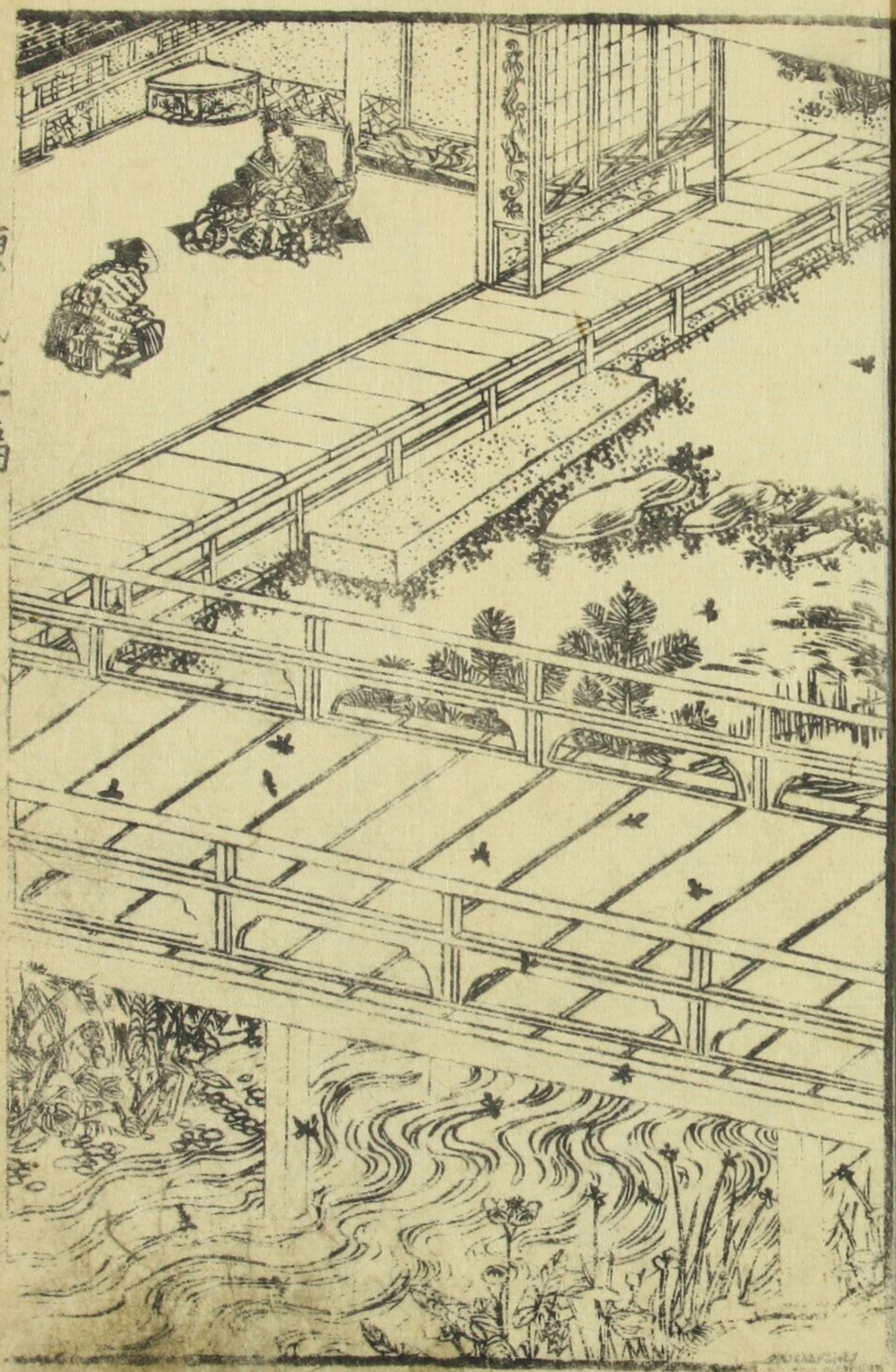
川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は

川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は



川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は
 川流の
 水は

源氏物語



源氏物語

十一

Handwritten text in a cursive script, likely a list or inventory, located at the top of the page.

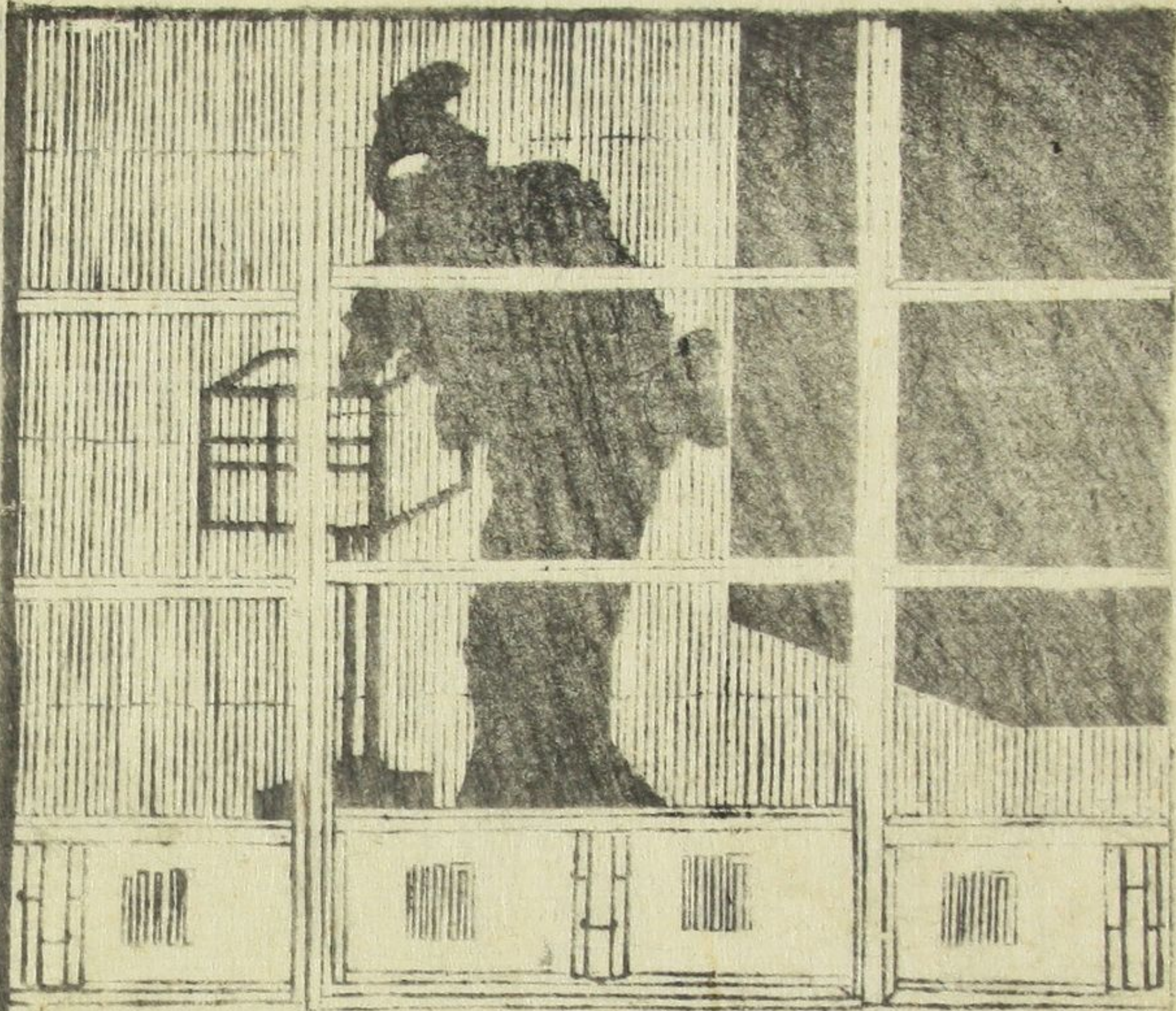
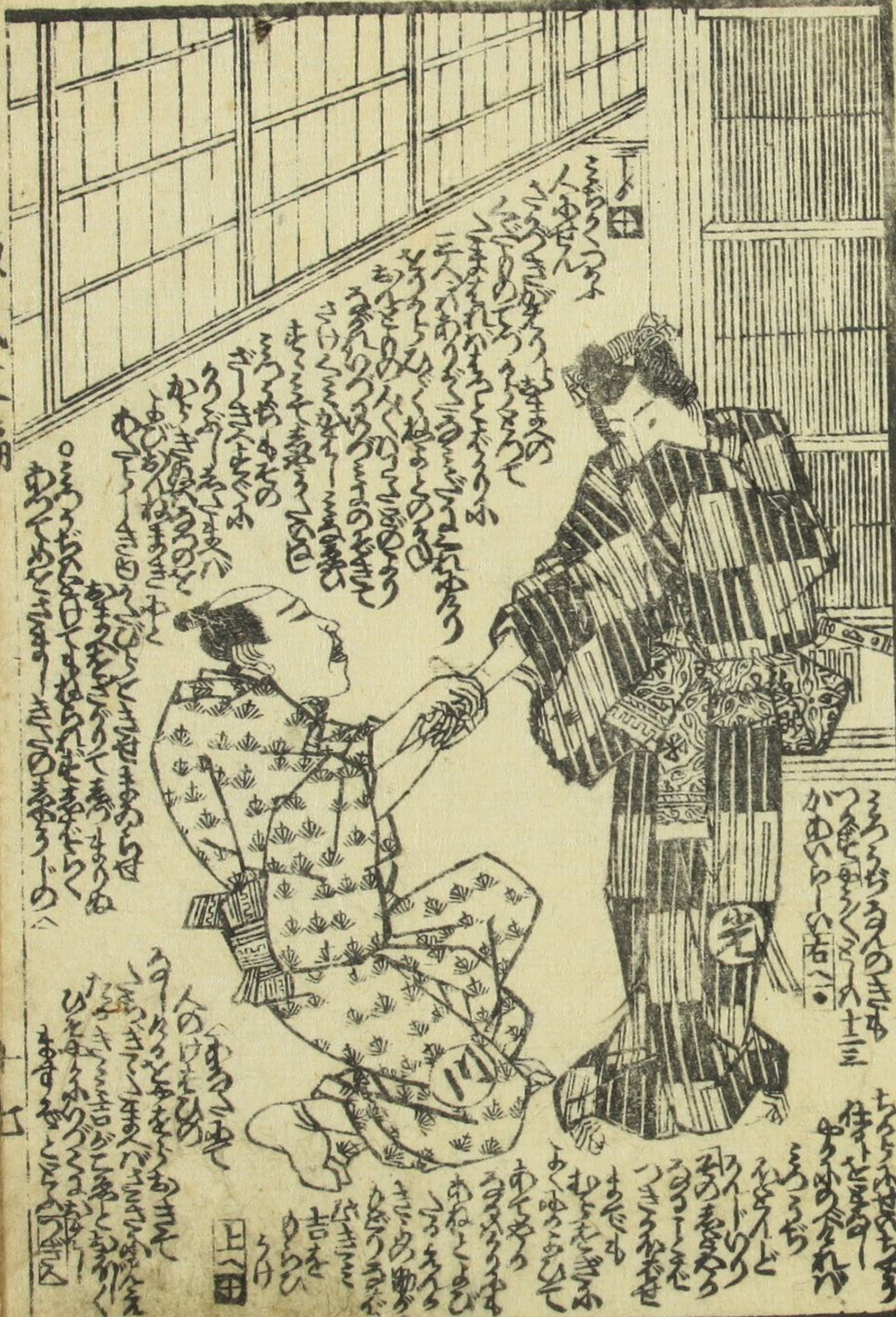


Handwritten text in a cursive script, likely a list or inventory, located at the bottom of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or inventory, located at the top of the page.

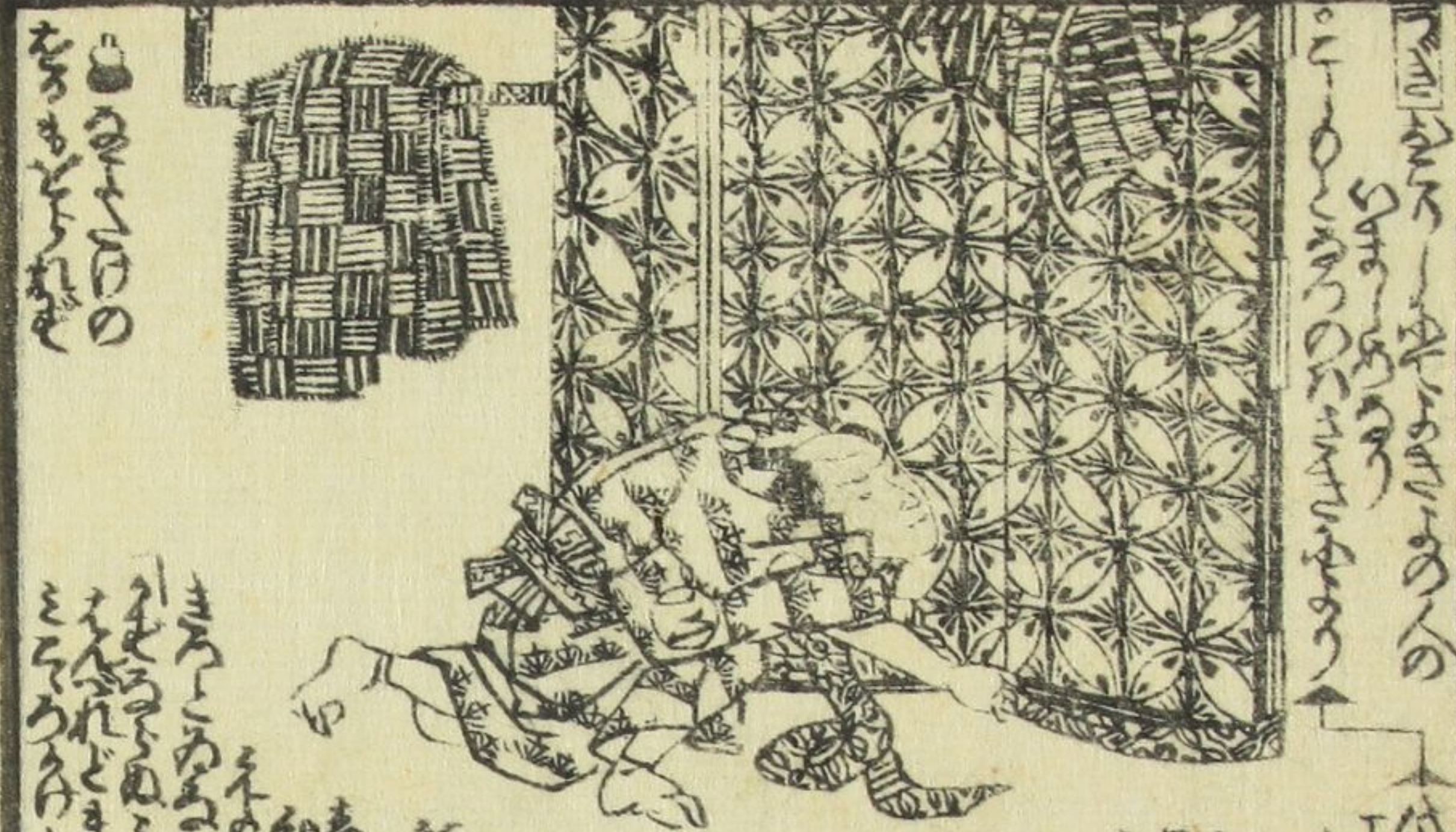


Handwritten text in a cursive script, likely a list or inventory, located at the bottom of the page.



上田
 吉
 光
 三
 東
 上田
 吉
 光
 三
 東

源氏物語



ついでに言ふに
その女は
あつた
ついでに言ふに
その女は
あつた



あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

源氏物語

ついでに言ふに
その女は
あつた
ついでに言ふに
その女は
あつた



ついでに言ふに
その女は
あつた
ついでに言ふに
その女は
あつた

ついでに言ふに
その女は
あつた
ついでに言ふに
その女は
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

天保七年申春新彫

山東京山作
琴声女房形氣 全四冊

歌川國貞画

五柳亭徳井作
森羅萬象心意氣 全四冊

歌川國芳画

柳亭種彦作
浮波さざり 八冊

歌川貞秀画

関亭傳次作
烏勘左衛門忠義傳 全四冊

歌川國芳画

宝田千町作
縮葉山蓀の松枝 全四冊

歌川國芳画

空亭仙果譯
國字水滸傳 十四編 四冊

歌川國芳画



國貞画種彦作

賤の女 黄昏

又顔の上よ 比

華綺千形道

浄か不の茶おろし
羨艶仙女香甲八冊
あつがほろもり
黒油羨玄香甲八冊

南橋了町
三丁目西側
坂本氏利家
飯次
松屋在石橋つ



書物錦繪
團扇地紙
問屋鶴屋吉右衛門
江戸通油町

鳥
海



